

区長会議こども・教育部会 会議次第・議事概要

日 時 平成 29 年 6 月 15 日 (木)
9:00 ~ 11:00 (部分公開)
場 所 教育委員会事務局第 2 会議室

(公開)

1 「大阪市学力向上コンフェロンス」の開催について

【要旨】

教育委員会事務局から、「大阪市学力向上コンフェロンス」の開催について説明があり、意見交換を行った。

(主な意見)

- ・部会 から に分かれているが、4か所同時に実施するということが。
- ・数年間続いているが、これまでPDCAをどう回してきたのか。また、900人というキャパはあるが、動員などは考えているのならば区はどう協力していけば良いのか。
- ・区ではどういった方々を対象に声をかければ良いのか。
- ・曜日や時間の設定の話だが、先程の話だと土曜日だと集まりが悪く平日の方が良いのか。
- ・基本的には各校教員の方とPTAの方一人ずつは参加された方が良いと思うのできっちり周知した方がよい。
- ・学校協議会委員となっている地域の方々にはこの話は伝わっていないのか。
- ・学校任せになっているということだが、これから直接的に学校の評価に関わっていく区役所としては、特に学校協議会委員となっている地域の方々には積極的にご案内するべきであろうし、当事者であるPTAや保護者などの学校協議会委員にも周知していただいて、是非来ていただきたいと言っていくべきだと思う。当日申込み無しで来た場合は席が空いていれば入れるという理解で良いか。
- ・カリキュラムマネジメントが大事である一方で学校長により差があるように感じるという話があったが、その点についての現状を聞きたい。
- ・カリキュラムマネジメントの主体は学校長になるのか。全て学校長なのか、基本となるものがあって各学校長がそこに色づけをしていくようなイメージなのか。
- ・学校選択制の議論でもあったことだが、旧来の学校教育の考え方はどこの学校でも等しく同じ教育を受けられるようにするというところが命題であったが、平成24年からそれぞれの事情や特性にあった、子どもと保護者のニーズにあった教育をしなければならないという方向転換がなされた。カリキュラムマネジメントというのは、如何に現場の子どもの実情にあった教育にアレンジするか、そのマネジメントであるので、「こういうプログラムでやりなさい」というやり方は今の時代には則していない。基本的に教育委員会からいろんな情報や素材は提供するが、マネジメントするのは現場を知っている学校長ですよというふうに切り替わっているのだが、なかなか旧来の命題から切り替えることが難しく、答えを求めるような発想がまだまだ教育現場にあるように見受けられる。

(主な意見に対する説明)

- ・部会 から については4か所別れて同時にではなく、1つの会場で順番に実施させていただく。4つの部会では指導要領からの新しい方向性をまず説明したうえで、施策の発表をしてみたいと考えている。是非参加いただきたい。
- ・各学校2名までの参加でお願いしているところで、まだ締め切っていないが現在350人ほど集まっている

ので、区の方には3～5名まででお願いしたいと考えているが、それ以上の人数で来ていただける状況があれば、最終はキャパを見ながら考えたいと考えている。今年で8回目になるが、当初は土曜日の開催であったが、土曜日では参加し難いという声もあったので平日の開催としている。また保護者の参加も年々増えてきており、アンケートなどから見ても好評であるので、今年度も計画させていただいている。

- ・ これまでは、区役所のご担当の方に参加していただくことが多かったが、どういった方々に来ていただくかは区の方にお任せしたいと考えている。
- ・ できるだけ中核教員に参加してほしいと考えており、できるだけ早い時期に周知をすることにより学校行事などを調整していただき、平日の方が参加しやすい状況となっている。
- ・ 地域の方々については学校によっては声をかけていただいているところもある。
- ・ 申し込みが無くても当日席が空いていれば入場は可能である。
- ・ カリキュラムマネジメント関係については教育センターで研修を実施したり、教育振興基本計画の説明なども実施する中で、次期学習指導要領を見据えた形での話をさせていただいているところであるが、学校長それぞれがカリキュラムマネジメントについて学んでいかなければならないので、今回その部分についても発信していきたいと考えている。6月頃に文部科学省へ各担当指導主事がまいり行政説明を聞いてきた後、夏に教育センターにおいて研修会を行ってまいりたいと考えている。
- ・ カリキュラムマネジメントについては、教育委員会からモデルとなるようなものであるとか、各種情報について提供していくこととなるが、主体となるのは学校長である。
- ・ 教育委員会からもいろんな場面で新しい要素は発信していきたいと考えているところである。

(非公開)

1 教育ICT活用事業について

【要旨】

- ・ 教育委員会事務局から、教育ICT活用事業について説明があり、意見交換を行った。

2 区担当教育次長による学校評価について

【要旨】

- ・ 教育委員会事務局から、区担当教育次長による学校評価について説明があり、意見交換を行った。